

平成17年8月2日

放射線管理区域入域時における装備品の未着用について

平成17年7月27日午後5時頃、屋外に設置されている5号機圧力抑制プール水貯蔵タンク*¹点検作業の準備を行っていた協力企業作業員9名のうち1名が、警報付個人線量計*²を持たずに、一時的に設定した放射線管理区域*³へ入域したことについて、7月28日、協力企業から当社へ連絡がありました。

本事象については、7月28日から8月1日まで、協力企業より労働基準監督署へ状況を説明しておりましたが、本日、労働基準監督署から、当該事象について協力企業に対して是正勧告、当社に対しては同様な事象が今後発生しないような対策を講じるよう指導をいただきました。

調査の結果、当該作業員は、作業班長からの連絡を受け、作業に必要な資材を届けた後、他の作業員とともに作業エリアに入りましたが、その際放射線管理区域の標識が見にくかったため、当該作業エリアが放射線管理区域に設定されていることに気づきませんでした。また、作業班長は当該作業員へ作業内容の説明は行いましたが、警報付個人線量計をすでに着用しているものと思い、着用の説明を行いませんでした。

対策として、一時的に設定した屋外の放射線管理区域周辺の見やすい各所に警報付個人線量計着用の表示札を掲示するとともに、当該管理区域に入域する場合には、作業班長がその都度、警報付個人線量計着用の確認を行うことといたします。

また、今回の事例を周知することにより再発防止に努めてまいります。

当該作業員の放射線被ばく線量を評価したところ、被ばくはありませんでした。

今回の是正勧告および指導を真摯に受け止め、協力会社と連携して是正措置を検討し実施するとともに、今後同様な事象が発生しないよう、より一層の安全管理に努めてまいります。

以上

* 1 圧力抑制プール水貯蔵タンク

圧力抑制プール^(注) 点検のために水を一時的に貯蔵するタンク。

(注) 原子炉格納容器の下部にあり、原子炉圧力容器の圧力が上昇した場合にその蒸気を圧力抑制室内に導いて冷却することで原子炉格納容器内の圧力を低下させる設備。また、原子炉冷却材喪失事故時の非常用炉心冷却系の水源として水を貯蔵する役割もある。

* 2 警報付個人線量計

作業員個人の被ばく線量および放射線管理区域の入域時間を測定する測定器。被ばく線量や入域時間があるレベルに達したときにアラームが鳴る。

* 3 放射線管理区域

放射線による無用な被ばくを防止するため、また、放射性物質による放射能汚染の拡大防止をはかるため管理を必要とする区域。

今回は当該作業のため、被ばくの可能性はあるものの、放射能汚染のおそれのない区域として一時的に設定していた。